



市長 田中 甲

千葉県 市川市



誰もが個々の能力を生かしながら
健やかに、生き生きと暮らせる「健康
都市いちかわ」を目指しています

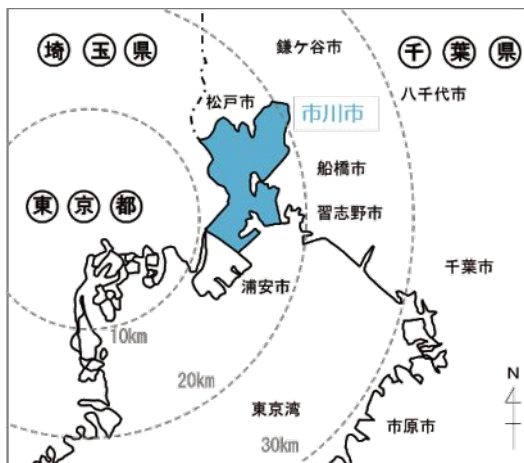
【データ】 令和7年4月30日現在

- ・人 口:496,650人
- ・世帯数:262,900世帯
- ・面 積:56,390km²
- ・市の花:バラ
- ・市の木:クロマツ
- ・特産物:梨、海苔

【連絡先】

担 当:企画部健康都市推進課
電 話:047-712-8642

市川市の紹介



市川市は、千葉県の北西部、江戸川を隔てて東京都と隣接し、都心から20キロメートルの圏内に位置しています。

北部は梨栽培などの農業が盛んで自然が豊富である他、かつて下総国の政治の中心地である国府があり、万葉集においても市川の歌や句が読まれています。さらに、永井荷風も居を構えるなど市川ゆかりの文学者たちの足跡を辿ることができ、文化と芸術の土壌に育まれてきました。

南部は、東京湾に臨み京葉工業地帯の一翼を担っており物流関連企業や食品加工業などが立地しています。また、里海である三番瀬では、ノリ養殖や魚介類の水揚げなどの水産業が営まれています。

「健康寿命日本一」に向けた行政の取り組み

健康に関する情報の発信・普及啓発

市川市では、健康寿命日本一のまちを目指し、市民の更なる健康増進を図るため、様々な健康寿命延伸事業に取り組んでいます。

市民の健康意識の向上とより良い生活習慣の実践を促すことを目的として開催する「健康講演会」は、生活習慣や健康に関わるテーマについて著名な講師をお招きし、市長との対談企画など市民目線でわかりやすい情報の発信、普及啓発を行っております。



■健康を振り返る機会の創出



自身の健康データを測定することで、健康づくりを意識できる環境を整備するため、市内 20 箇所に体組成計および血圧計を設置しています。設置場所は市内公民館や行政窓口など、市民が気軽に立ち寄ることのできる施設とすることで、健康意識を高めるとともに、健康的な生活習慣に取り組むきっかけづくりにつながるものとなり、参加者も増加しています。

■健康行動を継続させるためのきっかけづくり

市民が健康的な生活習慣を継続することができるよう支援することを目的として、健康ポイント事業「Aruco(アルコ)」を実施しています。「歩くこと」や「測ること」といった健康行動に対し、それぞれポイントを付与するもので、貯めたポイントは、デジタル地域通貨「ICHICO

(イチコ)」へ交換することができます。令和 7 年 5 月よりウェアラブル端末でより便利に測定ができるようになりました。



【健康ポイント Aruco】



【デジタル地域通貨 ICHICO】

デジタル地域通貨「ICHICO」とは、地域経済と市民活動の活性を目指すデジタル地域通貨で、スマートフォン専用アプリ等を利用し、1ICHICO=1円として、市内の加盟店で使えるキャッシュレス決済です。「ICHICO」と「Aruco」を結びつけることで、これまで健康に関心の低かった方々に対しても、健康づくりを始めるきっかけとなるだけでなく、健康づくりの継続化が図られることや、地域経済の活性化にもつながることを期待しています。

■「健康都市推進」に向けた市民や関係団体等との取り組み

健康都市に関する情報発信や事業への積極的な参加協力等の役割を担う健康都市推進員および事業者や大学等の協力のもと、参加型イベント「健康フェスタ」を開催しています。令和6年度は「肌に関する健康」と「パン食と健康」をテーマとした講演に加え、体組成測定や野菜摂取量が分かるベジチェックなどの健康測定会を実施しました。また、令和 7 年 5 月には、全国展開するフィットネスクラブを運営する 5 社と協定を締結し、「健康」「子育て」「防災」の3つの分野を主軸とした様々な事業を展開していきます。今後も、庁内および市民や関係団体等と連携し、「健康寿命日本一」に向けた取り組みを進めていきます。

